

文部科学大臣優秀教職員表彰ニュース

令和8年2月発行 京都市教育委員会 教職員人事課

文部科学省では、平成18年度から学校教育において教育実践等に顕著な成果を上げている全国の教職員を表彰し、意欲及び資質能力の向上に資することを目的に「優秀教職員表彰」が行われており、第20回目となる今年度は全国から824名、60団体の優秀な教職員が表彰され、本市からは、7名（小2名・中1名・義2名・総1名・事務職員1名）及び1団体が受賞しました。表彰式典は、令和8年1月20日（火）に東京大学の安田講堂で行われました。全国の受賞者が一堂に会され、参加した受賞者の皆様は、今後の教育実践等への意欲をさらに高められました。

受賞者の皆様



陵ヶ岡小学校
上長 生 教諭



砂川小学校
西村 哲哉 教諭



花山中学校
前川 俊 教諭



凌風小中学校
諸富 愛弓 教諭



栄桜小中学校
吉田 幸平 教諭



北総合支援学校 中央分校
伊藤 陽一 教諭



向島秀蓮小中学校
松下 健太郎 事務職員



幼保小架け橋プログラム 御所南小ブロック
かがやきたいにじっこチーム（中京もえぎ幼稚園・御所南小学校）



「文部科学大臣優秀教職員表彰」の御受賞、誠におめでとうございます。受賞されました7名と1団体の皆様が、「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という京都市の教育理念のもと、全国をリードする本市教育の充実に御尽力いただいておりますことに、心から敬意と感謝の意を表します。

昨今、急速な情報化や生成AIに代表される技術革新によって社会が大きく変化し、それに伴い、子どもたちが抱える課題も多様化・複雑化する新しい時代に突入をしています。そのような新たな時代の中でも、本市の子どもたちのために、弛まぬ努力と優れた教育実践を積み重ねながら、今後もますます御活躍され、御自身の輝きを京都市全体に広められることを御期待申し上げます。

受賞者の皆様をはじめ、全ての教職員の皆様におかれましても、子どもたちがこれからの未来社会を生き抜くことができるよう、より一層、本市教育の充実・発展に御尽力いただきますことをお願い申し上げます。

京都市教育長 稲田 新吾